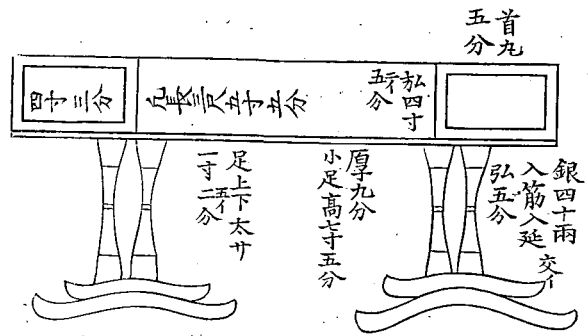


彫脇息一基



大床長九寸、弘一寸五分、
保長五寸六分、弘一寸二分、

料木三寸板三尺五寸
木道單功食紫檀
筋料銀廿兩、延定六丈
八尺、內次大五丈九尺

但白錫蒔十兩、內
一兩足二兩首
一兩面一兩入筋大吳美

脇息用事如名

中彫間一寸三分

從首入定立事四寸七分

〔正倉院御寶物之圖〕御寶物目錄記寸尺者、以金尺新量之

御脇息 二箇足横五尺三寸、足高七寸

脇息種類

〔空穂物語 菊の宴〕きさいの宮賀、正月廿七日にいでくるおとこになむ、つかまつり給ける、まうけられたるもの、略中ちむのけうそく、略中左大將おしき六十、おなじこがねのけうそく、よろづのものかすをつくしてまいる、

〔雅亮装束抄〕もやひさしのてうどたつる事

そのひんがしにまきゑのけうそくを、た、みのへりにそへて、にしひんがしがまにをくべし、